

市原地区地域協議会

【基礎資料】

1	市原地区の県立高校5校の現状	2
	(1) 地区における学校所在地	2
	(2) 県立高校5校について	3
	ア 概要（全日制）	3
	イ 沿革	6
	ウ 募集学級数の推移	9
	(3) 入試の状況	10
	(4) 進路の状況（令和4年3月卒業生徒）	10
2	市原地区の現状と今後の見通し	11
	(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等	11
	ア 地区の公立中学校卒業生数と、第9学区の県立高校全日制への進学者数の推移	11
	イ 公立中学校卒業者の進路先	12
	①市原市	12
	ウ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）	13
	(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し	14

【参考】各校の概要・沿革の掲載ページ

校名	概要	沿革
市原	3	6
京葉	3	6
市原緑	4	7
姉崎	4	7
市原八幡	5	8

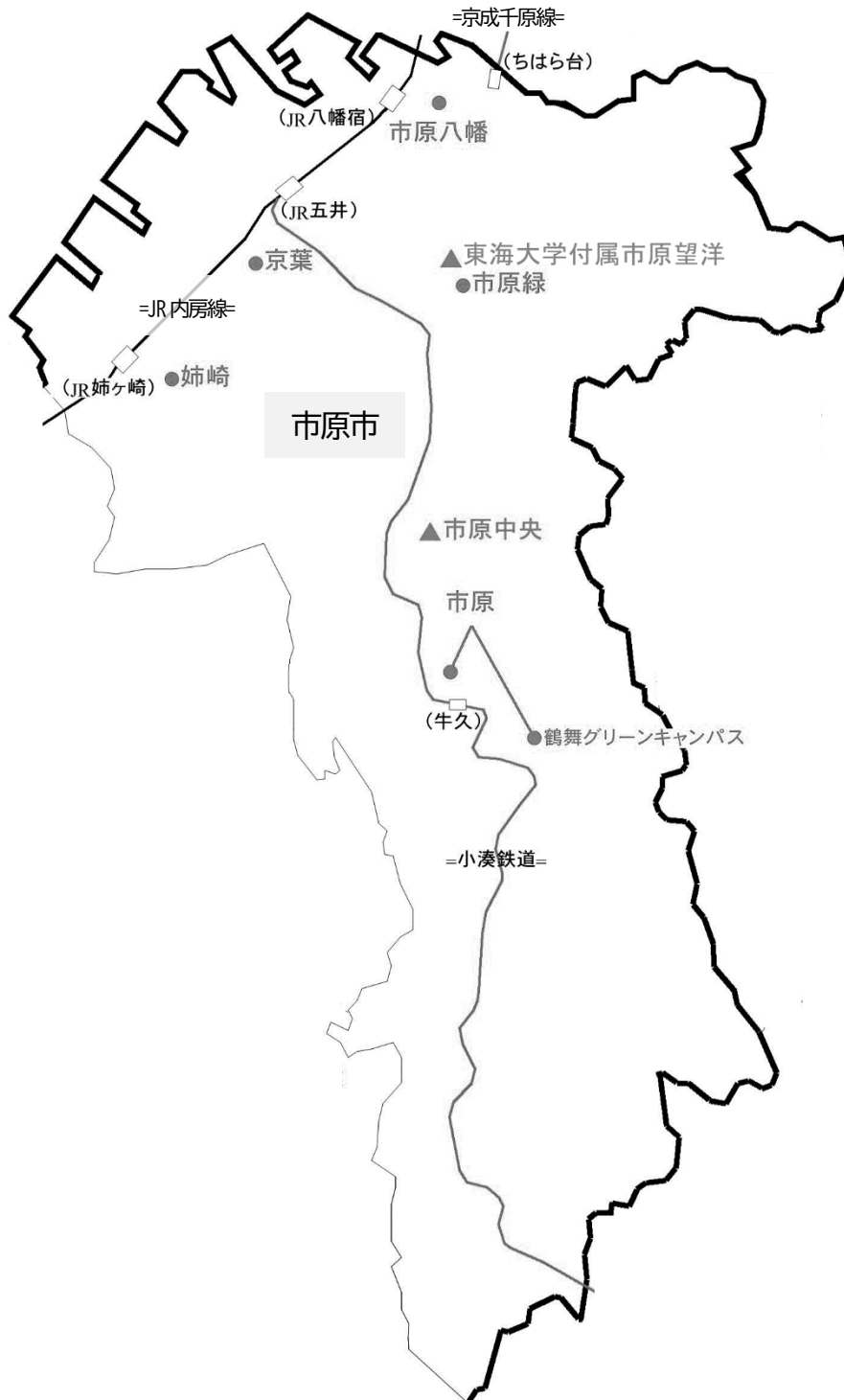
※掲載しているデータは、特別な記載がない限り令和5年度のデータである。

また、確定値ではない場合がある。

1 市原地区の県立高校5校の現状

(1) 地区における学校所在地

●県立高校 市原 京葉 市原緑 姉崎 市原八幡
▲私立高校 東海大学付属市原望洋 市原中央



(2) 県立高校5校について

ア 概要

学校名	市原	京葉	
所在地	市原市牛久 655	市原市島野 222	
交通手段	小湊鉄道上総牛久駅 徒歩 10 分	JR 内房線五井駅 徒歩 25 分	
設置年度	昭和 2 年	昭和 40 年	
学年別 学科・学級数	普通 2, 3, 3 園芸 1	普通 3	
全校生徒数	227 (144 . 83)	327 (176 . 151)	
1 学年 (男・女)	75 (50 . 25)	120 (62 . 58)	
2 学年 (男・女)	68 (42 . 26)	115 (63 . 52)	
3 学年 (男・女)	84 (52 . 32)	92 (51 . 41)	
居住市町村別 生徒数 (割合)	市原市 211 (93.0%) 長南町 9 (4.0%) 大多喜・千葉 各 2 (各 0.9%) 袖ヶ浦 各 1 (各 0.4%) 長柄・富津	市原市 275 (84.1%) 木更津市 21 (6.4%) 袖ヶ浦市 18 (5.5%) 君津・千葉 各 6 (各 1.8%) 富津市 1 (0.3%)	
上位 5 自治体			
第 9 学区 生徒数 (割合)	213 (93.8%)	321 (98.2%)	
市原市内 生徒数 (割合)	211 (93.0%)	275 (84.1%)	
部活動・部員数及び 加入率(R4)	運動部 48 文化部 58 加入率 46.7%	運動部 171 文化部 84 加入率 78.0%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大)	11 (9.9%)	60 (38.2%)
	専修学校	9 (8.1%)	50 (31.8%)
	職業能力校	29 (26.1%)	65 (41.4%)
	就職	3 (2.7%)	0 (0.0%)
	その他	56 (50.5%)	25 (15.9%)
	12 (10.8%)	7 (4.5%)	
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 34 名 養護教諭 1 名 実習助手 5 名 事務職員 4 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 26 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名	
	合計 46 名	合計 33 名	
校地面積	敷地全体 41,782	敷地全体 49,168	
	保有建物 14,740	保有建物 17,678	
	保有運動場 27,042	保有運動場 31,490	
	実習地他 0	実習地他 0	
	借用地 0	借用地 0	
再編歴	H10-英語科設置(H17-募集停止) H26-食とみどり科に緑地管理コースを設置 H30-食とみどり科を園芸科に再構成 ※H26, H30 は旧鶴舞桜が丘における再編 H31-鶴舞桜が丘と統合 R6-地域連携アクティブスクール		

学校名	市原緑	姉崎		
所在地	市原市能満 1531	市原市姉崎 2632		
交通手段	JR 内房線八幡宿駅 バス 20分 徒歩 1分	JR 内房線姉ヶ崎駅 バス 7分		
設置年度	昭和 49 年	昭和 53 年		
学年別 学科・学級数	普通 3	普通 4		
全校生徒数	334 (160 . 174)	445 (227 . 218)		
1 学年 (男・女)	120 (53 . 67)	160 (85 . 75)		
2 学年 (男・女)	115 (57 . 58)	157 (85 . 72)		
3 学年 (男・女)	99 (50 . 49)	128 (57 . 71)		
居住市町村別 生徒数 (割合)	市原市 314 (94.0%) 千葉市 12 (3.6%) 袖ヶ浦市 4 (1.2%) 富津・木更津 各 2 (各 0.6%)	市原市 215 (48.3%) 袖ヶ浦市 113 (25.4%) 木更津市 99 (22.2%) 君津市 8 (1.8%) 千葉市 6 (1.3%)		
上位 5 自治体				
第 9 学区 生徒数 (割合)	322 (96.4%)	437 (98.2%)		
市原市内 生徒数 (割合)	314 (94.0%)	215 (48.3%)		
部活動-部員数及び 加入率(R4)	運動部 95 文化部 94 加入率 56.6%	運動部 186 文化部 239 加入率 95.5%		
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大)	27 (23.5%)	44 (28.8%)	
	専修学校	17 (14.8%)	39 (25.5%)	
	職業能力校	51 (44.3%)	48 (31.4%)	
	就職	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	就職	37 (32.2%)	61 (39.9%)	
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 26 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名 技能員等 1 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 31 名 養護教諭 1 名 実習助手 2 名 事務職員 3 名		
	合計 34 名	合計 39 名		
校地面積	敷地全体	54,014	敷地全体	44,604
	保有建物	17,581	保有建物	17,422
	保有運動場	34,945	保有運動場	26,409
	実習地他	1,488	実習地他	0
	借用地	0	借用地	773
再編歴	H7-スポーツコース設置(R3-廃止)	R2-ものづくりコース設置		

学校名	市原八幡			
所在地	市原市八幡 1877-1			
交通手段	JR 内房線八幡宿駅 徒歩 20 分			
設置年度	昭和 58 年			
学年別 学科・学級数	普通 5, 6, 5			
全校生徒数	619	(297 . 322)		
1 学年 (男. 女)	201	(88 . 113)		
2 学年 (男. 女)	228	(109 . 119)		
3 学年 (男. 女)	190	(100 . 90)		
居住市町村別 生徒数 (割合)	市原市	453	(73.2%)	
	千葉市	70	(11.3%)	
	袖ヶ浦市	61	(9.9%)	
	木更津市	26	(4.2%)	
	上位 5 自治体 君津市	5	(0.8%)	
第 9 学区 生徒数 (割合)	548 (88.5%)			
市原市内 生徒数 (割合)	453 (73.2%)			
部活動-部員数及び 加入率(R4)	運動部 225	文化部 97	加入率 52.0%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち 4 年大)	119	(50.2%)	
	専修学校	99	(41.8%)	
	職業能力校	87	(36.7%)	
	就職	2	(0.8%)	
	就職	18	(7.6%)	
	その他	11	(4.6%)	
教職員数 (本務者)	校長	1 名	教頭	1 名
	教諭等	48 名	養護教諭	1 名
	実習助手	1 名	事務職員	4 名
	合計 56 名			
校地面積	敷地全体			41,198
	保有建物			18,103
	保有運動場			23,095
	実習地他			0
	借用地			0
再編歴	H18-単位制導入 H31-防災の学び導入			

イ 沿革

各学校の令和5年度学校要覧より抜粋

市原		京葉	
大正 14	3.24	牛久他 2 町村組合立市原学館立認可	昭和 27 2.22 千葉県立市原第一高等学校定時制(中間)課程八幡分校の設置を市原郡町村会が議決
昭和 2	4.1	牛久他 8 町村組合立千葉県市原中学校設置	4.1 設置認可。生徒定員学年 40 名
昭和 3	4.1	県立移管 千葉県立市原中学校と改称	4.8 開校式並に入校式を挙行。
昭和 23	4.1	新学制実施 千葉県立市原高等学校と改称	昭和 32 10.5 創立 5 周年記念式並に校舎増改築落成式を挙行
昭和 23	10	校歌制定	昭和 36 4.1 校名変更により、千葉県立市原高等学校定時制八幡分校と称す
昭和 25	4.1	千葉県立市原第一高等学校と改称 定時制の課程(夜間)の開設	昭和 37 4.1 全日制課程普通科(生徒定員、学年 50 名)を設置し、千葉県立市原高等学校八幡校舎と改称す
昭和 27	4.1	定時制八幡分校開設	昭和 39 3.31 八幡校舎の定時制課程を廃止
昭和 31	3.31	定時制課程(夜間)の廃止	4.1 校舎を市原市島野 222 に移転
昭和 34	3.25	創立 30 周年記念式典挙行	昭和 40 3.30 千葉県立市原高等学校八幡校舎を廃止
昭和 36	4.1	校名改称 千葉県立市原高等学校の旧称に復帰	4.1 千葉県立京葉高等学校の設立認可
昭和 37	4.1	全日制八幡校舎の開設	4.28 創立記念式典挙行
昭和 40	4.1	八幡校舎の独立 (千葉県立京葉高等学校として発足)	昭和 48 10.15 第 28 回千葉若潮国体サッカー会場となる
昭和 51	11.6	創立 50 周年記念式典挙行	昭和 49 1.24 全入クラブ、県指定校として研究発表
昭和 57	11.30	創立 60 周年記念式典挙行	11.2 創立 10 周年記念式典挙行、記念誌刊行
平成 3	4.1	制服改訂	平成 4 3.10 創立 40 周年記念誌刊行
平成 8	11.08	創立 70 周年記念式典挙行	平成 14 11.15 創立 50 周年記念式典挙行、記念誌刊行
平成 10	4.1	英語科新設	
平成 17	4.1	英語科廃止	
	11.11	創立 80 周年記念式典挙行	
平成 27	11.13	創立 90 周年記念式典挙行	
平成 31	4.1	千葉県立鶴舞桜が丘高等学校と統合し、千葉県立市原高等学校となる。	

市原緑		姉崎	
昭和 48	11.28	第 21 回定例教育委員会議 98 号 千葉県教育委員会は、千葉県立市原 緑高等学校の設置を認可する。	昭和 52 7.22 学校用地取得議案を県議会に提出、 取得許可 11.17 教育委員会にて設置の決定
昭和 49	3.4-5	昭和 49 年度入学学力検査を県立京葉 高等学校において両校同時に実施 受検者 444 名(男子 240 名、女子 204 名)	12.24 「千葉県高等学校設置条例の一部を 改正する条例」(4号)可決により昭和 53 年 4 月 1 日より開校
	3.7	校章、女子制服制定	昭和 53 3.2-3 昭和 53 年度入学学力検査を千葉県立 京葉高等学校で実施
	4.8	千葉県立市原緑高等学校仮校舎にお いて、開校式・入学式を挙行 入学許可生徒 361 名	昭和 53 4.13 開校式・第 1 回入学式 会場-市原市立姉崎中学校体育館
	5.29	PTA 設立総会	昭和 54 6.23 校歌・旗披露並びに体育館落成記念 式典(この日を創立記念日と定める)
	6.1	生徒会発足	昭和 58 6.18 創立 5 周年記念講演会、記念誌発行
昭和 50	4.5	通学バス開通	平成 10 11.21 創立 20 周年記念式典実施
昭和 59	6.1	創立 10 周年記念式典	平成 15 11.19 県教育委員会より自己啓発指導重点 校の指定を受ける
平成 5	10.30	創立 20 周年記念式典	平成 20 11.15 創立 30 周年記念式典実施
平成 6	4.1	体育コース設置	平成 26 3.31 自己啓発指導重点校の指定が解除さ れる
平成 7	4.1	スポーツコース設置	令和 2 4.1 ものづくりコース新設
平成 10	4.1	スポーツ健康コース設置 英語コース設置	
平成 15	4.1	新制服採用	
平成 16	11.27	創立 30 周年記念式典	
平成 19	11.13	平成 19 年度県教育委員会表彰(学校 健康教育)受賞	
平成 20	4.1	英語コース廃止	
平成 21	9.30	関東交通安全連合会表彰(交通安全功 労団体)受賞	
平成 23	1.18	全日本交通安全協会表彰(交通安全優 良学校)受賞	
平成 25	11.7	平成 25 年度文部科学大臣表彰 「学校保健及び学校安全表彰」 (学校安全)受賞	
	12.18	受賞記念式典	
令和 2	4.1	女子制服にスラックス導入	

市原八幡

昭和 57	10.12	千葉県立高等学校設置条例の一部を改正する条例案を県議会で可決
昭和 58	3.1-2	昭和 58 年度入学者選抜学力検査を千葉県立生浜高等学校で実施
	4.9	開校式、第 1 回入学式 式場:八幡東中体育館 保護者会設立総会
	6.30	生徒会設立総会
	10.11	校旗・校歌制定 体育館、格技場落成記念式典
昭和 61	4	61、62 年度千葉県教育委員会高等学校安全研究指定校
平成元	3.31	創立 5 周年記念誌「草創の記録」発行
平成 3	4	3、4、5 年度文部省指定運動部活動研究推進校
平成 5	6.24	創立 10 周年記念講演
	11.1	創立 10 周年記念誌「10 年間の歩み」発行
平成 6	2	運動部活動研究推進校全国発表
	4	学校間連携実施
平成 15	10.11	創立 20 周年記念式典
平成 16	3.1	創立 20 周年記念誌発行
平成 25	11.29	創立 30 周年記念式典
平成 26	4.1	創立 30 周年記念誌「萌えいでし三つの若葉に」発行

ウ 募集学級数の推移

課程	学校名	学科名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
全 日 制	市原	普 通	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
		園 芸						1	1	1	1	1	
	鶴舞桜が丘	園 芸						2	H31年度、市原と統合				
		食 と 緑	2	2	2	2	H30年度、園芸科へ学科再構成						
		総合ビジネス	1	1	1	1	1	H31年度、市原と統合					
	京葉	普 通	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	
	市原緑	普 通	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
	姉崎	普 通	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	市原八幡	普 通	6	6	6	6	6	6	6	5	6	5	
	合 計			24	24	23	23	23	21	20	19	20	18

※郡部における適正規模の下限である4学級に学校全体で満たない年度のセルを灰色にしている。

※市原高校はH31年度に鶴舞桜が丘と統合し、園芸科を設置し、普通科に商業コースを設置した。

【参考】鶴舞桜が丘高校における学科再構成

「県立学校改革推進プラン」「第3次実施プログラム」に基づき、平成30年度に農業に関する学科の学科再構成を実施している。

再構成前	→	再構成後
食とみどり科	→	園芸科

(3) 入試の状況

学校名	学科名	令和3年度入学者選抜					令和4年度入学者選抜					令和5年度入学者選抜				
		定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率
市原	普通	120	74	0.62	74	62%	120	64	0.53	63	53%	80	46	0.58	47	59%
	園芸	40	27	0.68	27	68%	40	14	0.35	14	35%	40	28	0.70	28	70%
京葉	普通	120	90	0.75	94	78%	120	134	1.12	120	100%	120	129	1.08	120	100%
市原緑	普通	120	119	0.99	118	98%	120	115	0.96	117	98%	120	134	1.12	120	100%
姉崎	普通	160	145	0.91	143	89%	160	159	0.99	158	99%	160	183	1.14	160	100%
市原八幡	普通	200	206	1.03	200	100%	240	247	1.03	240	100%	200	208	1.04	200	100%

1. 定員：第1学年募集定員(40名×募集学級数)
2. 許可候補者数：一般入学者選抜、2次募集(定員を満たさなかった場合に行われる選抜)等で入学許可候補者となった者の数である
3. 充足率：定員に対する入学許可候補者数であり、 $\text{入学許可候補者数} \div \text{定員} \times 100$ で算出した

(4) 進路の状況 (令和4年3月卒業生徒)

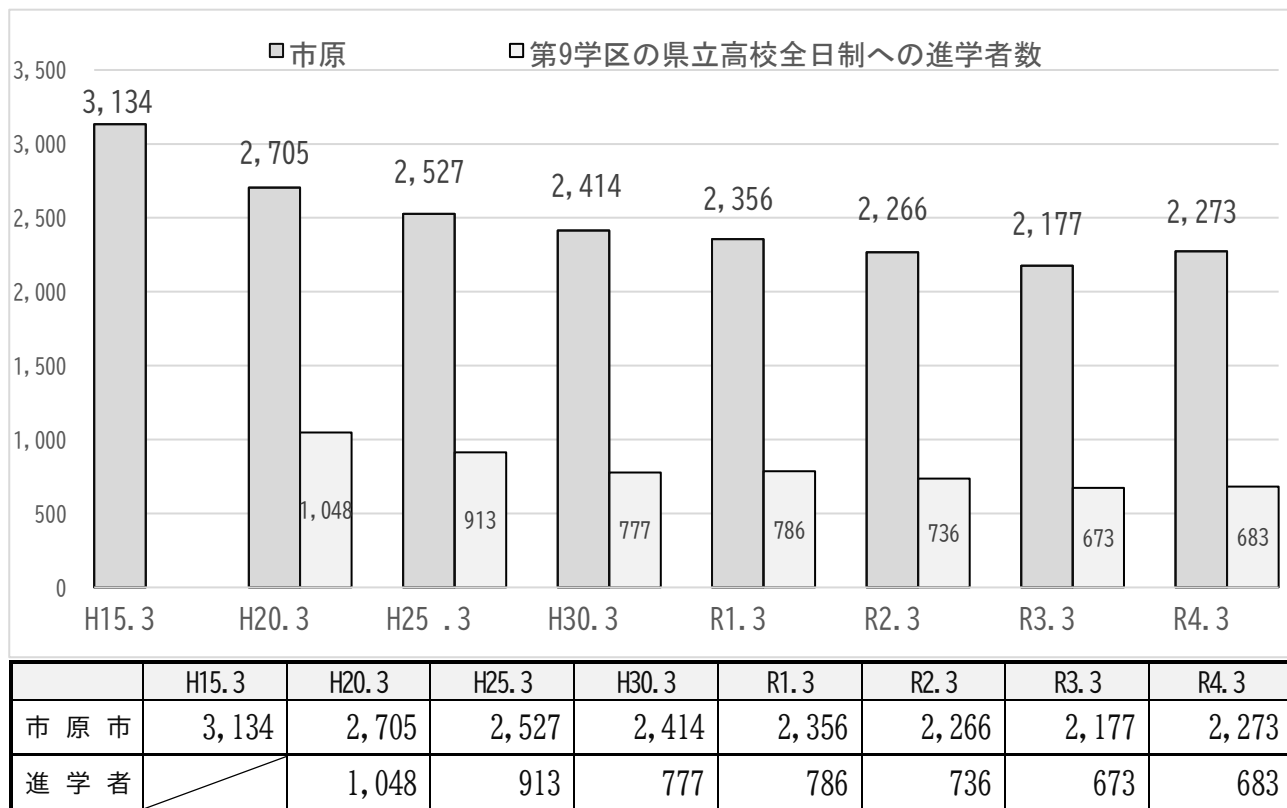
学 校 名	市 原	京 葉	市 原 緑	姉 崎	市 原 八 幡
大学進学	11	60	27	44	119
(うち4年大)	9	50	17	39	99
専修学校	29	65	51	48	87
職業能力校	3	0	0	0	2
就職	56	25	37	61	18
その他	12	7	0	0	11
卒業者計	111	157	115	153	237

出典：令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて算出

2 市原地区の現状と今後の見通し

(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等

ア 地区の公立中学校卒業者数と、第9学区の県立高校全日制への進学者数の推移



※ H15.3の進学者数はデータが存在しないため、掲載していない。

出典：中学校卒業者数は令和4年12月公表の学校基本調査（文部科学省）より、進学者数は、進路状況調査を基に教育政策課にて算出。ともに公立中学校からの卒業者、進学者の数である。

イ 公立中学校卒業者の進路先

①市原市

中学校卒業者の進路先

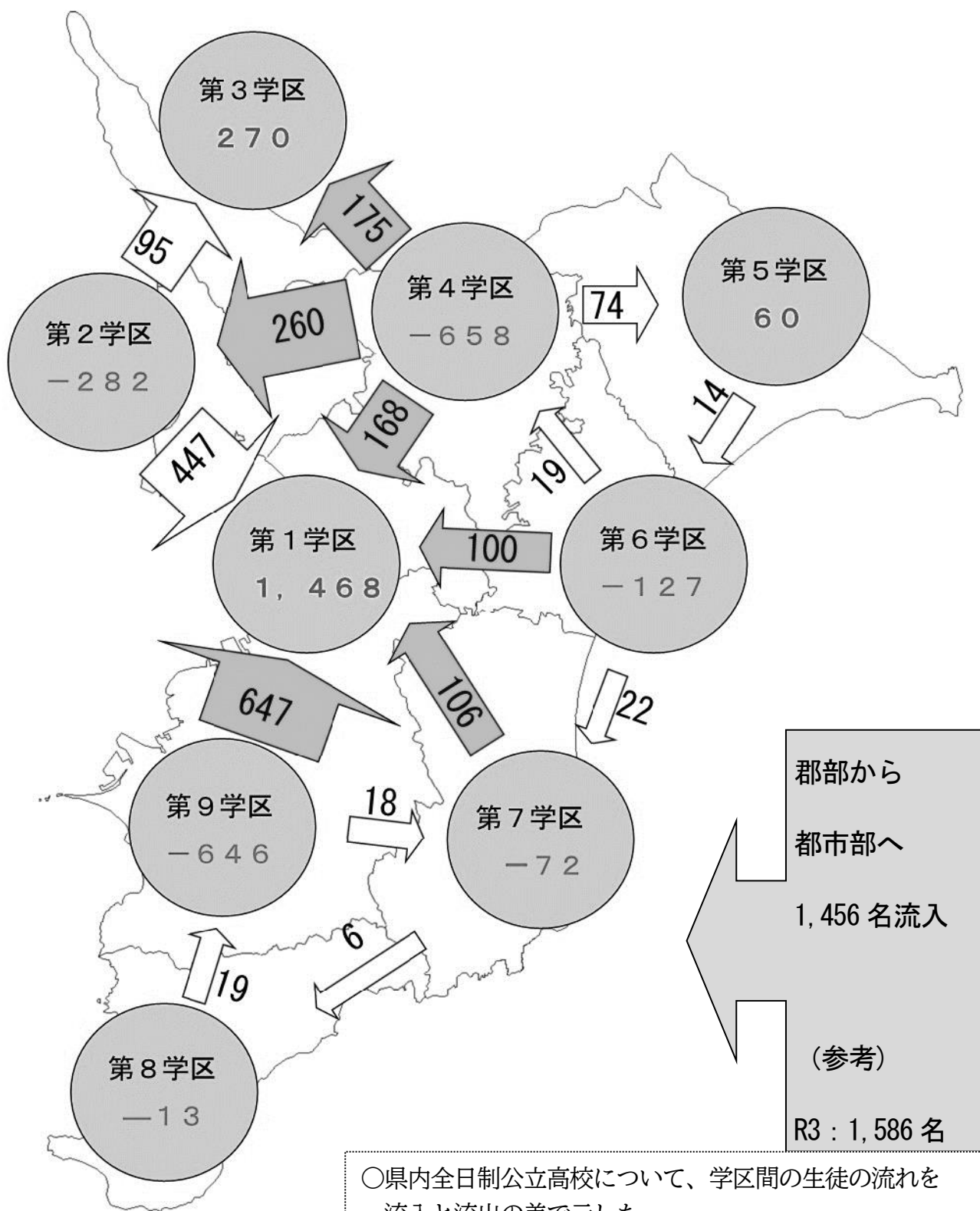
進路先	人数	割合
高校【全日制】	1,990	87.5%
うち公立	1,268	55.8%
うち私立	722	31.8%
高校【定時制】	69	3.0%
高校【通信制】	69	3.0%
高等専門学校	24	1.1%
特別支援学校	26	1.1%
県外へ進学	55	2.4%
進学以外	40	1.8%
合計	2,273	100.0%

全日制公立高校進学者 1,268 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	534	42.1%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	15	1.2%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	-
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	1	0.1%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	2	0.2%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	8	0.6%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	24	1.9%
第8学区	鴨川、南房総、館山	1	0.1%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	683	53.9%
合計		1,268	100.0%

出典:令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて作成

ウ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）



○県内全日制公立高校について、学区間の生徒の流れを流入と流出の差で示した。
○郡部から都市部への流入については灰色で示している。
出典：教育政策課調べ

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5歳
卒業年月	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3
市原市	2,196	2,124	2,137	2,098	2,030	1,989	1,928	1,877	1,909	1,746

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

